



Q：心房細動とはどんな病気ですか。

A：心臓は1分間に60～80回拍動し、血液を全身に送り出しています。右心房の近傍にある洞結節と呼ばれる部位がペースメーカーであり、規則正しく電気信号を出してリズムをとっています。

心房細動とは、洞結節ではなく心房内の他の部位から1分間に350～600回の不規則な電気信号が発作的に発生し、心房全体が小刻みに震え、正しい拍動ができなくなる不整脈です。動悸、息切れ、胸部不快感、呼吸苦などの自覚症状が現れます。心房細動によるリズムの不整や頻脈発

作自体が命に関わることはほとんどありませんが、頻脈が長く続くと心臓の収縮機能が低下して心不全を引き起こすことがあります。

また、心房細動中は心房内で血液が停滞して血栓ができやすく、血栓が脳の血管に流れると脳梗塞を引き起こします。脳梗塞の約15%は心房細動による血栓が原因であり、



心不全、高血圧症、75歳以上、糖尿病、脳梗塞の既往のある方は特にリスクが高く、抗血栓療法が必要です。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801

**JR甲府駅北口から
徒歩1分**

朝食をぬいて来院していただければ、当日に内視鏡検査を受けることができます。(経鼻内視鏡も可)

8/13(木)～16(日)は休院させていただきます

おかだ内科クリニック
内科・消化器内科

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/
15:00～18:00	○	○	/	○	○	/	/

甲府市北口2-9-12
ニッコー北口駅前ビル2F ☎055-288-1801
<http://www.okadanaika.com>

※駐車場あり

夏期